

分 野	授 業 科 目	単位（時間）	進 度	担 当
専門基礎分野	病理学	1（15）	1年後期	廣田昌彦 実務経験あり
科 目 目 的	疾病の原因や発生原理、形態と機能および代謝変化の原理を理解する。			
科 目 目 標	1. 疾病の起こるメカニズム、変化、その結果として表れる病態を理解する。 2. 代謝異常、循環異常、炎症、腫瘍、先天異常の5つのカテゴリーを理解する。 3. 病気を理解する上で基礎となる病理学の知識を看護の展開に活かす。			
単 元 名	教 育 内 容	時間	教育方法	留 意 点
1. 疾病の概念・ 病因	1) 看護と病理学 2) 病気の原因	1	講義	視聴覚教材（ビデオ、イラスト、図表）を活用し、臨床的な内容の理解を促進し、疾患、看護の知識の体系化、深化に役立つようにする。 病理標本を多用し、臨床での実践につなげた学習ができるようにする。
2. 代謝障害	1) 細胞の損傷と適応 2) 物質沈着 3) 糖質代謝障害、脂質代謝障害	2	講義	
3. 循環障害	1) 局所の循環障害 2) 全身の循環障害 3) リンパの循環障害	2	講義	
4. 炎症と免疫	1) 炎症 2) 免疫 3) アレルギーと自己免疫疾患	2	講義	
5. 感染症	1) 病原体と感染症 2) 宿主の防御機構 3) 感染症の治療	2	講義	
6. 腫瘍	1) 腫瘍の定義と分類 2) 腫瘍の発生原理 3) 悪性腫瘍の転移と進行度 4) 腫瘍の診断と治療	2	講義	
7. 先天異常	1) 先天異常 2) 遺伝子異常と疾患 3) 染色体異常による疾患	2	講義	
8. 老化	1) 細胞の老化 2) 個体の老化	1	講義	
9. 試験		1		
テキスト／その他の教材	系統看護学講座「病理学」（医学書院）			
評 価 方 法	筆記試験（100点）で評価する			